

平成19年度 当初予算案の概要

京 都 府



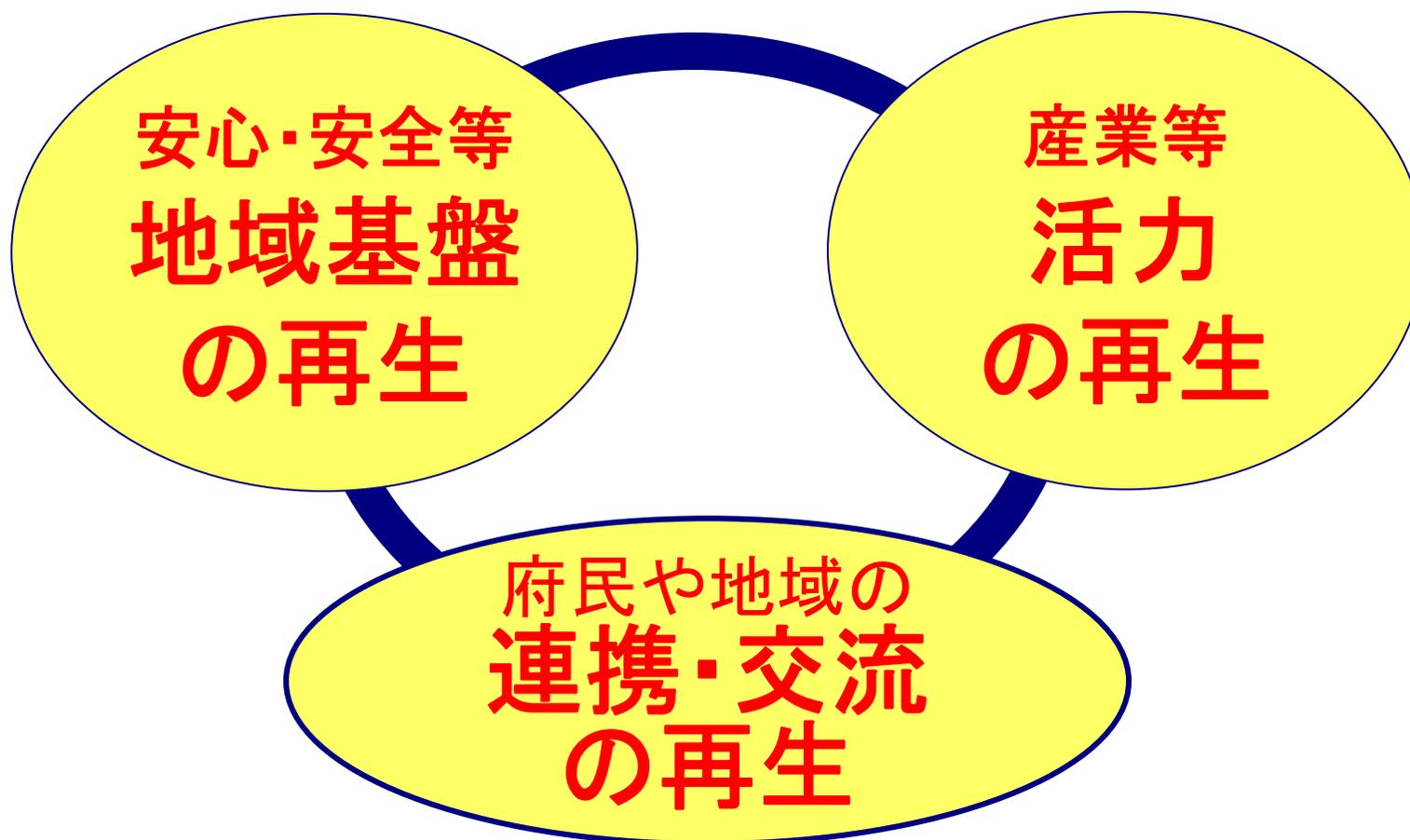
予算編成の基本方針

- ◆地域力の再生と中期ビジョンの着実な推進による「安心・安全、希望の京都」の実現
- ◆それを支える府政経営改革



地域力の再生

地域力再生に向けた3つの基本





地域力再生のための特別枠

地域力再生のための
喫緊の課題に60億円を投入

地域における生活の安心・安全

…子育て、健康、防犯、防災

府民のもつ力を活かした活力

…雇用、産業、企業誘致

府民や地域との絆(きずな)づくりのための

連携・交流

をはじめとする府民生活に重点

地域力再生のための 主 な 施 策



安心・安全等地域基盤の再生

- 児童虐待防止対策
- 京都子育て支援医療助成費の拡充
- 医師確保対策



児童虐待防止対策

123百万円

検証委員会による課題・問題点

職員の強化



専門性向上の研修と資格者の増員
IT化による情報共有の徹底

組織の強化



未来っ子サポートチーム専任3名増
保健所体制の強化7名増
夜間、休日体制等の強化
外部評価委員会の設置

等

地域連携強化



虐待防止アドバイザーの派遣

等



京都子育て支援医療助成費の拡充

※金額は「一部負担金額(上限)」

対象年齢		0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	小学1~6年生
現 行	入院	1医療機関200円/月						<p>入院:全国トップ (所得制限なしの府県で) 通院を含めても 全国トップクラスを確保</p>	
	通院	1医療機関200円/月		8,000円/月					
改正案	入院	1医療機関200円/月						<p>← 拡 充 →</p> <p>1,390百万円</p>	
	通院	1医療機関200円/月		<u>3,000円/月</u>					
					← 拡充(負担金額軽減) →				



医師確保対策

633百万円

◎医師バンクの充実

- 中堅医師の確保～研修・研究支援
病院助手(仮称)の創設(医大)
- 指導医の確保 ～指導医の派遣助成
医師確保助手枠の設置(医大)
- 若手医師の確保～専攻医制度の充実
- 女性、退職医師の復職支援 など

◎地域医療を担う若手医師の育成

- 地域医療確保奨学金制度の創設 など

◎医療体制の整備

- 与謝の海病院の医療機器、研修・研究支援等の充実 など

※地元市町村も研修・研究支援、福利厚生などの取組みを充実



産業等活力の再生

○京都ジョブパークの開設

○中小企業応援条例に基づく施策の推進

(研究開発支援、知的資産活用、融資制度)

○匠の公共事業の推進

○雇用創出のための企業立地条例に基づく
企業誘致の推進



京都ジョブパーク

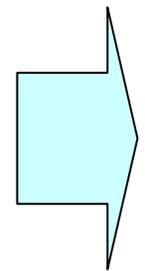
309百万円

支援の流れ

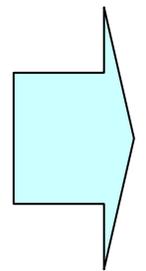
全国初

- 対象者
- 若年者
 - 女性
 - 中高年齢者
 - 障害者
 - 留学生
- 専門コーナー
新設等
- ・農林水産就業
 - ・母子家庭の自立
 - ・ものづくり人材

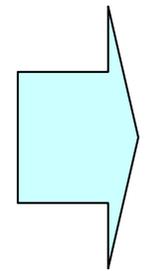
総合相談窓口



きめ細かなカウンセリング等



職業紹介（ハローワークと連携）



定着支援・フォローアップ

公労使が核となり地域で支える共同運営



府民や地域の連携・交流の再生

○地域力再生プロジェクトの推進

（市町村未来づくり交付金に地域力再生推進枠を創設）

○地域戦略推進費

○NPOパートナーシップセンター



地域力再生推進枠

(市町村未来づくり交付金)

地域団体等が行う地域力再生の活動に直接支援

市町村未来づくり交付金を拡充

地域力再生推進枠(3億円)を設定

〔環境保全や子育て支援活動など、地域力再生
に対する活動を支援する予算枠を新たに設定〕

※市町村との協働により5億円を確保



「地域戦略予算」の新たな展開

55百万円

山城

- 京都山城「宇治茶の郷づくり」
- やましろ元気なものづくり企業の支援

ほか

南丹

- おしゃれ観光南丹プロジェクト
- 南丹ふるさと帰農支援

ほか

中丹

- 由良川交流推進・魅力発信
- Second Life「京野菜パートナー」

ほか

丹後

- 天橋立世界遺産登録可能性検討調査
- 丹後の旨いもんづくり支援

ほか

中期ビジョンの着実な推進



学びと育みの京都

- ◆京都府子ども議会開催費 1百万円
- ◆「京都モデル」子育て応援中小企業推進費 5百万円
- ◆家庭支援総合センター(仮称)整備費 47百万円
- ◆京の子ども学力充実総合推進事業費 54百万円
- ◆京のまなび教室推進事業費 103百万円
- ◆心のサポート推進事業費 291百万円
- ◆退職教員教育サポートプロジェクト 273百万円
など



健やか長寿の京都

- ◆ 予防医学等研究推進事業費 37百万円
- ◆ ユニバーサルデザインによる生活環境づくり
事業費 26百万円
- ◆ きょうとお達者呼びかけ隊事業費 1百万円
- ◆ 発達障害者支援事業費 49百万円
- ◆ 高次脳機能障害者支援事業費 4百万円
- ◆ がん拠点病院整備事業費 63百万円
- ◆ 障害者自立支援対策 8,837百万円

(施設経営安定化支援、グループホーム等整備推進)

など



活力の京都

- ◆ 京都映画・映像産業ルネッサンス事業費 5百万円
- ◆ 中小企業知的資産活用推進事業費 10百万円
- ◆ 知的財産等活用融資の創設
- ◆ コミュニティビジネス支援事業費 2百万円
- ◆ 農業法人出資育成事業費 10百万円
- ◆ 担い手活用農地バンクシステム整備事業費 26百万円
- ◆ 丹後水産物ブランド化推進事業費 9百万円
- ◆ 交流ネットワークの推進
(京都縦貫自動車道、京都第二外環状道路等)
など



環境・文化創造の京都

- ◆源氏物語千年紀関連事業費 43百万円
 - ◆屋上緑化推進マイスター認定事業費 1百万円
 - ◆省エネアドバイザー育成・派遣事業費 4百万円
 - ◆国民文化祭に向けた京都文化力向上事業費 69百万円
 - ◆文化による起業コンペティション(仮称)開催費 9百万円
 - ◆景観形成推進事業費 2百万円
- など



安心・安全の京都

◆警察力の増強

(警察署、交番等の再編整備、警察官の増員)

◆住宅耐震改修助成制度の創設

◆耐震対策の推進(学校施設、橋りょう等)

◆地域防災対策事業の創設

(土木単独公共事業費)

◆犯罪被害者対策の充実

など



新規事業等の状況

⑱当初 新規事業

76件

うち アクションプラン

50件

予算を支える

経営改革プランの推進



主な歳入歳出の動き

歳入

- 府税 +705億円
(うち税源移譲分 +402億円)
- 所得譲与税 △442億円
- 地方交付税等 △100億円
- 減税・減収補てん債等 △242億円

歳出

- 退職手当の増 +108億円
- 福祉関係経費 +63億円
- 安心・安全の京都づくり
- 教員・警察官等の増員 +19億円

歳入減 △79億円

歳出増 190億円



経営改革プランの計画的な推進

206億円の改革

給与費プログラムの推進 $\Delta 73$ 億円程度

◆総人件費の抑制（職員数の削減（170人）等）

集中と選択による施策の見直し $\Delta 46$ 億円程度

公共事業費の重点化 $\Delta 72$ 億円程度

◆全会計で対前年 $\Delta 4\%$ 程度

その他公営企業の経営改善等 $\Delta 15$ 億円程度



公共事業費の重点化

1,082億円 (⑱6月補正後比 96%)

□安心・安全 (⑱6月後比 113.7%) **42,008百万円**

家庭支援総合センター、交番・駐在所整備 など

➤うち防災対策 (⑱6月後比 103.0%)

府立学校等耐震工事、地域防災対策事業 など

➤うち健康基盤 (⑱6月後比 著増)

医大外来診療棟、健康長寿基盤づくり事業

□教育力の向上 (⑱6月後比 397.5%) **2,067百万円**

府立学校再編整備

□ひと・もの・情報の交流(⑱6月後比 100.3%) **14,147百万円**

京都縦貫自動車道、京都第二外環状道路 など



府債発行の抑制

◆府債発行額 858億円(⑱970億円)
▲11.6%[地財▲10.8%]

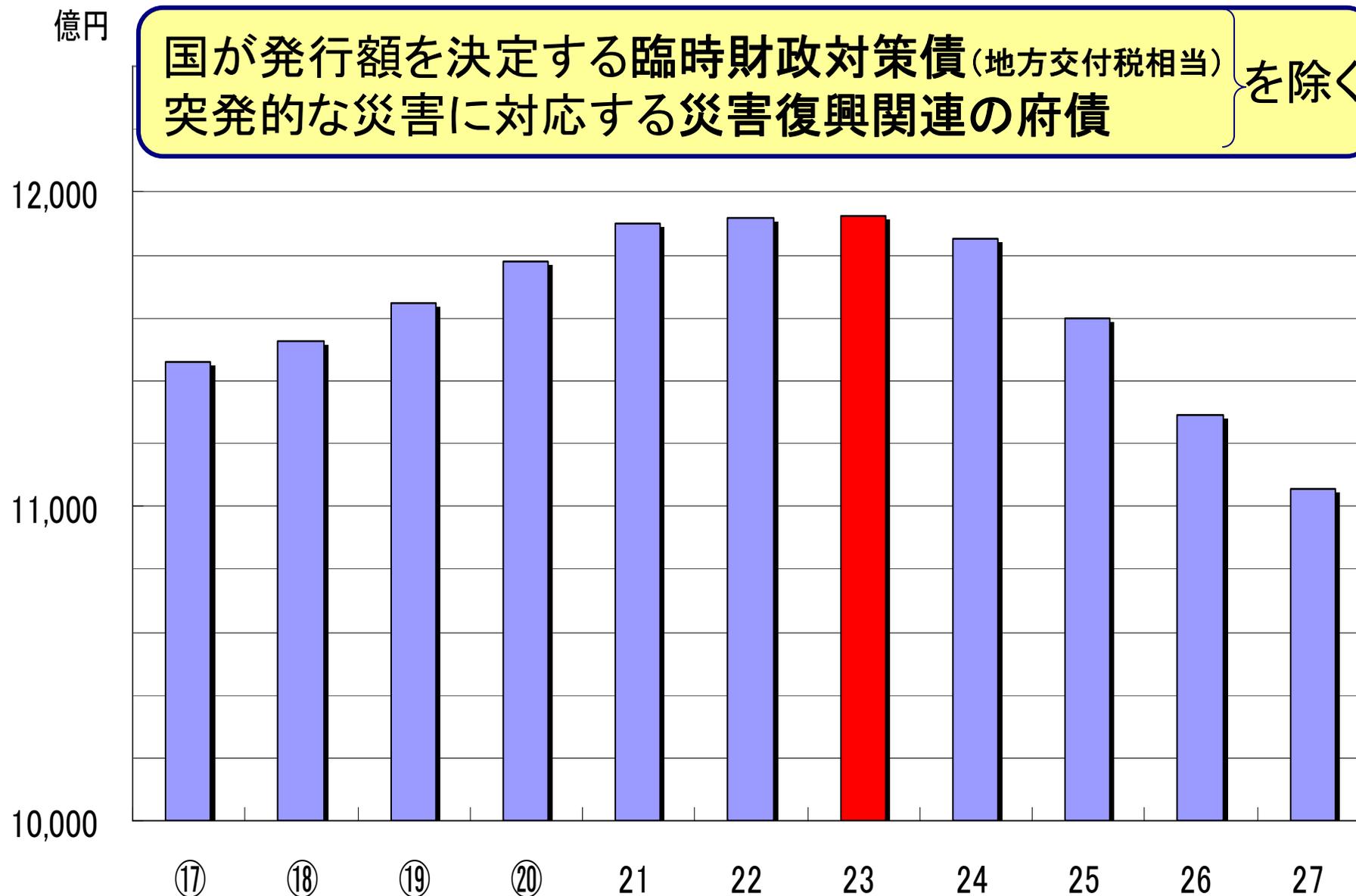
○府債依存度 10.5%(⑱11.9%)
[地財11.6%]

○プライマリーバランス
+3億円(⑱△65億円)

※府債残高の減少を一年前倒し(24年度)で達成見込み



府債残高の今後の推移





当初予算の規模

一般会計予算 821,011百万円

⑮6月補正後比 100.8%

(退職手当増除き 99.4%)

(⑮6月後 814,840百万円)

【参考】

⑯地方財政計画 100.0%